

医療の安全	3年・後期	1単位	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111123

1. 授業のねらい・概要

医療の質を保証するには第一に医療現場が安全で安心でなければならず、また、患者とその家族にとっては、安全に手術や治療が行われ、安心して療養生活を過ごすことができることは大変重要なことであることについて講義する。医療の安全を確保するために必要な視点を身に付け、実際の医療現場で役立つよう講義する。医療事故の実際について理解を深め、リスクマネジメント能力を習得できるよう講義する。

2. 学修の到達目標

1. 医療安全文化の重要性と、医療安全対策やシステムについて説明できる。
2. 医療事故の種類と事故分析手法について理解し、予防の視点の重要性と対策について説明できる。
3. 医療安全における患者参加の重要性について理解し、患者中心の医療安全について説明できる。
4. リスクマネジメントの実際について理解し、看護師に求められる医療安全のスキルについて説明できる。
5. 看護師の業務内容と具体的な事故との関係性について理解を深める。

3. 授業の進め方

医療安全の取り組み状況や医療事故事例分析などを通して、医療現場における安全対策の実際についての理解がより効果的に深められるよう工夫する。

4. 授業計画（講義）

1. 医療安全対策・安全文化・安全システム
2. ヒューマン・エラー，ノンテクニカルスキルトレーニング
3. インシデント・アクシデント，予防の重要性
4. 医療事故分析に関する各ツール，コンフリクト・マネジメント
5. 薬剤に関する事故，診療の補助業務における事故，療養上の世話における事故
6. チーム医療における医療安全
7. 患者参加の医療安全
8. リスクマネジメントの実際

5. 成績評価の方法・基準

レポート 30%，期末試験 70%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：小林美亜編 『医療安全 改訂第2版』学研メディカル秀潤社
参考書：必要に応じて授業内に紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

実際の医療現場に出てから大変大切なことであるので、教科書内容について单元ごとの予習・復習が必要である。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

8. 受講上の留意事項

患者さんの命を預かる基本として、医療安全の知識は不可欠であることを十分に理解して欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

レポートや試験内容については、提出後に解答などを提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当する。本授業は、病院評価における実務経験を活かして指導する。